

保 健

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保健 3 0 6 5 0 6	A 4 124	令和5年 (12冊)
4	大日本図書	大日本◆	保健 3 0 7 5 0 7	A 4 116	
50	大修館書店	大修館◆	保健 3 0 8 5 0 8	A 4変型 124	
207	文教社	文教社◆	保健 3 0 9 5 0 9	A 4 122	
208	光文書院	光 文◆	保健 3 1 0 5 1 0	A 4 108	
224	Gakken	学 研◆	保健 3 1 1 5 1 1	A 4 140	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の 発行予定があることを示しています。

発行者の番号 略称		学年	2 東書	4 大日本	50 大修館
内 容 a	健康について課題を見だし、課題解決に取り組む内容の扱い	第三・四学年	「けんこうな生活」では、イラストや説明から2人の児童の生活の仕方を比べ、一方の児童が元気な理由を考える活動を設定することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること」を理解することができるようにしている。	「けんこうな生活」では、イラストや説明から運動、食事、休養・睡眠のかかわりについて話し合う活動を設定することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること」を理解することができるようにしている。	「けんこうな生活」では、イラストや説明から2人の児童の生活の仕方を比べ、一方の児童のよいところについて考える活動の後に、運動、食事、休養・睡眠と生活リズムの関係について図を見ながら確認することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること」を理解することができるようにしている。
		第五・六学年	「病気の予防」では、主な生活習慣病について資料で示している。また、予防するためには運動、食事、休養・睡眠など健康によい生活習慣を子供のころから身に付けることが必要と本文に示すことで理解することができるようにしている。さらに、深める・伝える活動において、自身の生活行動を振り返り、続けてしまいそうな行動に対する対策についてワークシートに書き、話し合う活動を設定することで、「病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること」ができるようにしている。	「病気の予防」では、主な生活習慣病について資料で示している。また、予防するためには運動、食事、休養・睡眠など健康によい生活習慣を小学生の頃から続けることが大切と本文に示すことで理解することができるようにしている。さらに、活かそうの活動では、生活習慣病を予防するために、これからどのようなことに気を付けていこうかについてワークシートに書く活動を設定することで、「病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること」ができるようにしている。	「病気の予防」では、主な生活習慣病について資料で示している。また、それを予防するためには、運動、食事、休養・睡眠など健康によい生活習慣を小学生の頃から続けることが必要と本文に示すことで理解することができるようにしている。さらに、まとめの活動において、適切でない食生活をしてるイラストの児童に対しての改善点をワークシートに書き、話し合う活動を設定することで、「病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること」ができるようにしている。

発行者の番号 略称		207 文教社	208 光文	224 学研
内 容 a	健康について課題を見だし、課題解決に取り組む内容の扱い	第三・四学年	「毎日の生活とけんこう」では、イラストや説明から2人の児童の生活の仕方から、健康と生活の仕方の関わりについて調べる活動を設定することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることができるようにしている。」	「けんこうな生活」では、イラストや説明から2人の児童の生活の仕方を比べ、気付いたことを書く活動の後に、生活のリズムがくずれるとどうなるかを考える活動を設定することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることができるようにしている。」
	第五・六学年	「病気の予防」では、主な生活習慣病について資料で示している。また、その予防の仕方について調べる活動を設定した後、運動、食事、休養・睡眠など、健康によい生活習慣を子供のころから身に付けておくことが必要ということを本文に示すことで理解することができるようにしている。さらに、まとめにおいて、今までの生活を振り返って、これからも健康でいられるようにどのようなことを心掛けていきたいかについてワークシートに書く活動を設定することで、「病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること」ができるようにしている。	「病気の予防」では、主な生活習慣病について資料で示している。また、それを予防するためには、運動、食事、休養・睡眠など、健康によい生活習慣を身に付けることが大切と本文に示すことで理解することができるようにしている。さらに、生かそうの活動において、生活習慣病を防ぐために、続けていきたいことやこれから取り組みたいことと、その理由について書く活動を設定することで、「病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること」ができるようにしている。	「健康な生活」では、イラストや説明から2人の児童の生活の仕方を比べ、一方の児童が元気な理由を考える活動の後に、運動、食事、休養・睡眠に注目してもう一方の元気でない児童にアドバイスを書く活動を設定することで、「毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることができるようにしている。」

発行者の番号 略称		学年	2 東書	4 大日本	50 大修館
内容 b	心身の発 育・発達 に関する 内容の扱 い	第三・四学年	「体の成長とわたし」では、入学してから4年生までの自分の身長伸びを確かめる活動の後に、イラストや折れ線グラフから6人(男女3人ずつ)の身長伸び方の違いを比べ、気付いたことを書く活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。	「体の発育・発達」では、1年生のときから4年生のときまでの自分の身長伸びを調べる活動の後に、イラストや棒グラフから4人(男女2人ずつ)の身長伸び方や伸びる時期の違いを比べる活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。	「体の成長」では、1年生から4年生までの自分の身長伸びを調べる活動の後に、イラストや棒グラフから6人(男女3人ずつ)の身長伸び方の違いを比べて話し合う活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。
		第五・六学年	「心の健康」では、不安や悩みがあるときに、自分がどうしているかを振り返り、友達と交流する活動を設定している。また、対処の方法の例から、自分にとって効果がありそうな対処の方法について考え、交流する活動を設定することで、「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。	「心の健康」では、不安や悩みにはどのようなものがあるか振り返り、友達と交流する活動を設定している。また、小学生の不安や悩みの種類や割合、対処のしかたについて資料で示し、どのように対処しようと思うか理由とともに書く活動を設定することで「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。	「心の健康」では、イラストから不安や悩みがあるときどのように対処するか考える活動を設定している。また、小学生の不安や悩みの種類や割合、対処の仕方について資料で示し、どのように対処しようと思うか書く活動を設定することで「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。

発行者の番号 略称		207 文教社	208 光文	224 学研	
内容 b	心身の発 育・発達 に関する 内容の扱 い	第三・四学年	「体の発育・発達」では、身長と体重の変化についてグラフから調べる活動の後に、イラストや棒グラフ・折れ線グラフから4人(男女2人ずつ)の身長の変化の仕方を比べて調べる活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。	「体の発育と健康」では、1年生の頃から4年生までの間に、自分の身長がどれくらい伸びたか調べる活動の後に、イラストや棒グラフから6人(男女3人ずつ)の身長の伸び方の違いを比べて気付いたことを書く活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。	「体の発育・発達」では、2人の身長の変化を比べる活動の後に、イラストや棒グラフ、折れ線グラフから4人(男女2人ずつ)の身長の変化について比べ、大きく伸びている時期について話し合う活動を設定することで、「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」を理解することができるようにしている。
		第五・六学年	「心の健康」では、不安や悩みについて今までの経験を振り返る活動を設定している。また、5・6年生の不安や悩みの種類と割合、対処のしかたについて資料で示し、相談した経験を書く活動を設定することで「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。	「心の健康」では、小学生の不安や悩みの種類と割合、対処のしかたについて資料で示し、深呼吸の仕方について実習を通して体験する活動や、不安や悩みを抱えたときどのように対処しようと思うか書く活動を設定することで「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。	「心の健康」では、不安や悩みについて今までの経験を振り返る活動を設定している。また、小学生(4～6年生)の悩みや心配なことを資料で示し、対処方法について話し合う活動を設定する。その後、対処の例について資料で示すことで「不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること」について理解することができるようにしている。

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 保健

項目 発行者	保健の各内容を取り上げているページ数					具体的な内容について取り上げている箇所数					f 発展的な内容を取り上げている箇所数
	第3・4学年		第5・6学年			第3学年	第4学年	第5学年		第6学年	
	a 健康な生活	b 体の発育・発達	c 心の健康	d けがの防止	e 病気の予防	a 運動と健康の関わりについて	b 体の発育・発達に 肯定的に受け止める ことに関する個人差を	c 不安や悩みへの対処の 方法を身に 付けることについて	d 危険の予測や回避の 方法を考える ことについて	e 病気の予防に関する 解決策を考 えることについて	
東書	20	17	16	24	34	16	8	13	29	21	22
大日本	16	18	12	20	26	18	10	10	30	24	25
大修館	16	20	16	22	28	21	11	9	27	24	34
文教社	18	18	18	26	36	16	7	13	25	20	26
光文	16	18	14	18	26	24	9	11	27	22	27
学研	20	20	18	24	36	20	9	16	22	23	28
平均値	17.7	18.5	15.7	22.3	31.0	19.2	9.0	12.0	26.7	22.3	27.0

表の中の「平均値」は小数点第二位を四捨五入した。

【各項目について】

「保健の各内容を取り上げているページ数」は、各単元の分量を表している。

「具体的な内容について取り上げている箇所数」は、各学年の内容について調査研究した箇所数を表している。

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 保健

発行者	東 書	大日本	大修館	文教社	光 文	学 研
性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし

「採択資料4-1」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 保健

発行者	ア 冊子のつくり・教材配列	イ 表記・表現	ウ 章扉・章末	エ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	オ ユニバーサルデザインの視点	カ デジタルコンテンツの扱い	キ その他
東書	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目4ページ構成 5ページ構成(第5学年第3項目) 6ページ構成(第3学年第1項目、第4学年第1・2項目、第5学年第4項目、第6学年第3項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉の「つなげよう」は、その章の学習内容と他教科との関連を示している。 章扉は、この章の目標や学習することについて提示している。 この章に関するSDGsの主な目標について提示している。 「学習の進め方」を各項目の冒頭で提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「ステップ1(気づく・見つける)」「ステップ2(調べる・解決する)」「ステップ3(深める・伝える)」「ステップ4(まとめ・生かす)」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、「けんさく」のマークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「資料」というページを設定している。 言葉の詳しい解説については、「解説」のマークを付けている。 課題を解決するための実験には、「実験」のマークを付けている。(3・4年) 課題を解決するための実習には、「実習」のマークを付けている。(5・6年) コンピュータを使って調べることについて、「けんさく」のマークを付けている。 知っておくと役立つ知識には、「まめちしき」のマークを付けている。 身に付けておくと役立つことには、「スキル」のマークを付けている。 保健の他の学年や、他の教科とのつながりには、マークを付けている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目2ページ構成 4ページ構成(第3学年第2項目、第4学年第1・3項目、第6学年第2項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉の「学習ゲーム」は、児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気付き、意欲的に取り組めるようにしている。 章扉の「とびら」は、これから学習する内容について提示している。 章末の「〇年のまとめ」は、学習を振り返ったり、これからどのように生活したいと思うかを考えたりする設問を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「見つける(つかもよう)」「考える・やってみる(考えよう・話し合おう・調べよう)」「まとめる」「広げる・深める(活かそう)」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、「ウェブ」のマークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「もっと知りたい!」というページを設定している。 言葉の詳しい説明については、「ワード」のマークを付けている。 実際にやってみるところには、「実習」のマークを付けている。(5・6年) ウェブサイトや学習できる場所には、「ウェブ」のマークを付けている。 役立つ知識の紹介には、「ミニちしき」のマークを付けている。 家で取り組みたい活動には、「いえで」のマークを付けている。 地域で取り組みたい活動には、「ちいきで」のマークを付けている。 保健の他の学年や、他の教科とのつながりには、マークを付けている。 SDGsと関係が深いところには、マークを付けている。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目2ページ構成 3ページ構成(第4学年第3項目、第6学年第2項目) 4ページ構成(第3学年第1項目、第4学年第1・4項目、第5学年第1・5・7項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉は、これから学習する内容について提示している。 章扉は、アスリートのインタビュー内容と関連させて学習内容の大切さについて感じられるようにしている。 章末の「学習を振り返ってみよう」は、学習を振り返ったり、これからどのように生活したいと思うかを考えたりする設問を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「課題をつかもう」「解決するための活動に取り組もう(話し合おう・考えよう・調べよう・やってみよう)」「まとめ生かそう・伝えよう」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、マークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「もっと学びを広げよう! 深めよう!」というページを設定している。 専門用語などの説明については、「解説」のマークを付けている。 学習内容に関わる資料には、「資料」のマークを付けている。 調べ学習の参考になるウェブサイトの紹介には、「Web」のマークを付けている。 知っておくと役立つ知識には、「豆知識」のマークを付けている。 体育(運動)と関連して学ぶことで深まる学習内容には、「体育の窓」のマークを付けている。 他の学年や他の教科の学習内容との関連には、マークを付けている。 実習を通して身に付ける学習内容には、「実習」のマークを付けている。

「採択資料4-2」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 保健

発行者	ア 冊子のつくり・教材配列	イ 表記・表現	ウ 章扉・章末	エ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	オ ユニバーサルデザインの視点	カ デジタルコンテンツの扱い	キ その他
文教社	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目4ページ構成 2ページ構成(第3学年第1項目、第4学年第3項目、第5学年第4項目) 3ページ構成(第4学年第1・3項目、第5学年第4項目、第6学年第8項目) 5ページ構成(第4学年第1項目、第6学年第1・8項目) 6ページ構成(第5学年第6項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉は、これから学習する内容について提示している。 章扉は、これから学習する内容について自己を振り返るための設問を提示している。 章末の「わたしの〇〇せん言」では、学習したこと、理解したことを「宣言」として記述する欄を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「学習のめあて」「Mission①(学習内容)」「Stage(学習活動)」「学習のまとめ」「Mission②(もう一歩先の自分へ)」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、マークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「Episode」というページを設定している。 理解する内容について、「ここが大事」のマークを付けている。 次の学習活動へのヒントには、「Clear」のマークを付けている。 次の学習内容へのヒントには、「ちょっとまった!」のマークを付けている。 次の時間へのヒントには、「Complete」のマークを付けている。 豆知識には、「つぶやきくん」のマークを付けている。
光文	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目2ページ構成 3ページ構成(第3学年第4項目、第4学年第3項目、第6学年第2項目) 4ページ構成(第3学年第1項目、第4学年第1・4項目、第5学年第1項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉は、漫画形式で、児童が学習内容を身近に感じられるよう、イラストと会話で提示している。 章扉は、これから学習する内容について提示している。 章末の「学習のまとめ」では、学習を振り返ったり、これからの生活に生かしたいと思う内容を選択し、理由を記述したりする欄を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「自分の生活をふり返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、マークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「広げよう・深めよう」というページを設定している。 学習内容をさらに広げたり、深めたりする資料ページへの案内には、マークを付けている。 学習内容に関わりのある仕事をする人の話には、「この人に聞く」のマークを付けている。 学習内容の理解を深める科学的な資料には、「科学のとびら」のマークを付けている。 専門的な用語などの解説には、「解説」のマークを付けている。 知っておくためになる知識には、「まめちしき」のマークを付けている。 他の教科や他の学年の学習内容との関連には、マークを付けている。 調べ学習などに役立つウェブサイトの紹介には、「ウェブ」のマークを付けている。 学習に役立つデジタル資料には、「デジタル」のマークを付けている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> 原則1項目4ページ構成 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は該当学年配当漢字を使用している。 当該学年以降に学習する漢字には振り仮名を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章扉の「つながり」は、その章の学習内容と他教科との関連を示している。 章扉は、これから学習する内容について提示している。 章扉は、これから学習する内容について自己を振り返るための設問を提示している。 章末の「ふり返る 伝える つながり」では、学習を振り返り、これからの生活に生かしたり、誰かに話してみたいと思ったりしたことについて、記述する欄を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「楽しみながら、この1時間の学習に関わる課題をつかもう」「ふり返ったり、読み取ったり、調べたりして課題の解決に取り組もう」「話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組もう」「この1時間で学習したことを活用して、課題を解決しよう」で構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やデザインなどを、ユニバーサルデザインの観点に配慮して作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、インターネットやデジタル教材で学習できるよう、マークや二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を広げたり、深めたりするために、「ほけんのほこ」というページを設定している。 科学的な資料には、「かがくの目」のマークを付けている。 言葉のくわしい説明には、「ことば」のマークを付けている。 他学年や他教科の学習内容とのつながりには、「つながり」のマークを付けている。 家庭や地域で取り組みたい活動には、「おうちで」「ちいきで」のマークを付けている。 くわしい説明や関連する情報には、「プチ」のマークを付けている。 ウェブサイトの紹介や情報の活用には、「検索しよう・情報の活用」のマークを付けている。

